

【はじめに】

後発医薬品（以下GE）の使用促進の為に、処方せん様式の変更、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則等の改正、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の創設等が行われてきたが、GEの使用割合は未だ低い状況である。

この理由として医療関係者の中で品質への疑問や安定供給体制の不備に加えて、未だ払拭できない実際の効果や副作用の違い等への不安があるのも事実である。

【目的】

患者様にGEへの理解を深めてもらい、安心して使用していただけるようにする。そのため、既に使用している患者様の声を知ることにより、課題を見つけ、解決することで満足度を高めて使用促進を図る。

【方法】

当社関連5店舗で実際にGEへ変更した患者様に対し、アンケート調査を実施し、その満足度や問題点等を抽出した。

調査対象

回答者数	101人
男女比	51:50
平均年齢	71±13.5歳

調査実施店舗

	GE割合
はあと薬局 皮膚科、整形外科門前薬局	26%
はあと薬局 在宅センター 面薬局	25%
はあと薬局 鎌田店 循環器内科門前薬局	16%
みくも調剤薬局 内科門前薬局	28%
アカネ薬局 整形外科門前薬局	25%

【結果】

図1 <<GE変更前の認知度>>

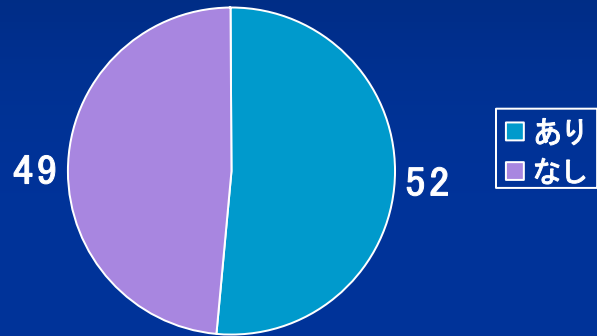


図2 <<GEについての主な情報源>>

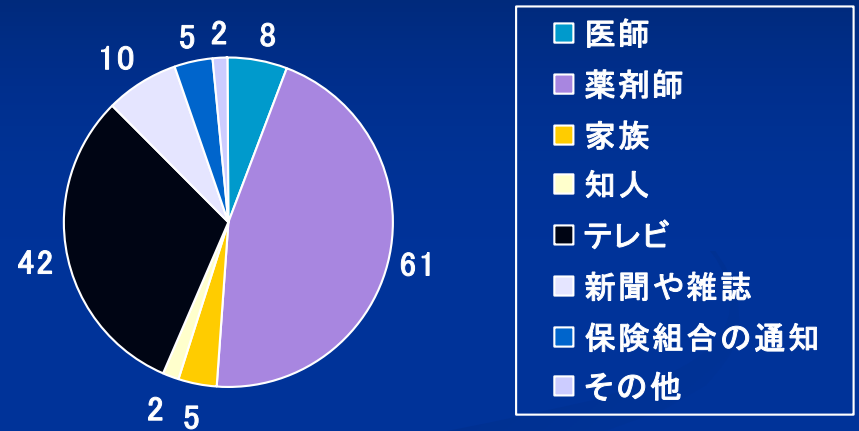


図3 <<GE変更への抵抗感>>

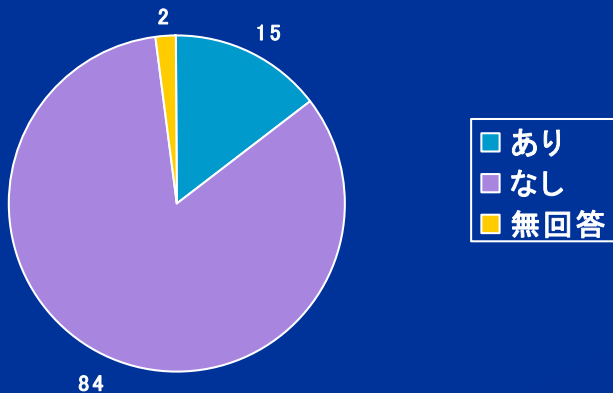


図4 <<抵抗を感じたところ>>

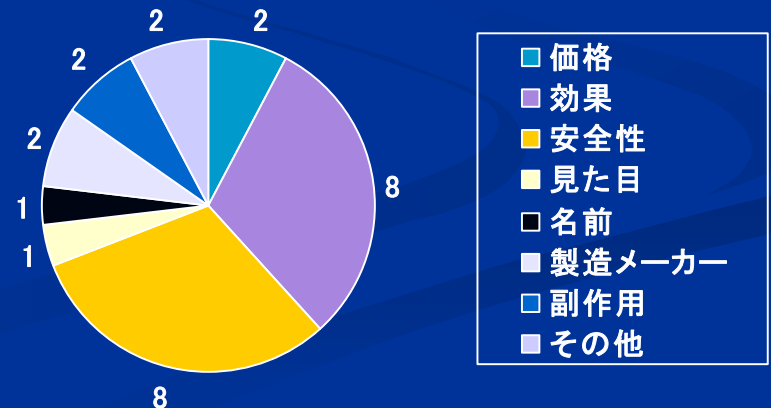


図5 《年代別GEの認知度と抵抗感》

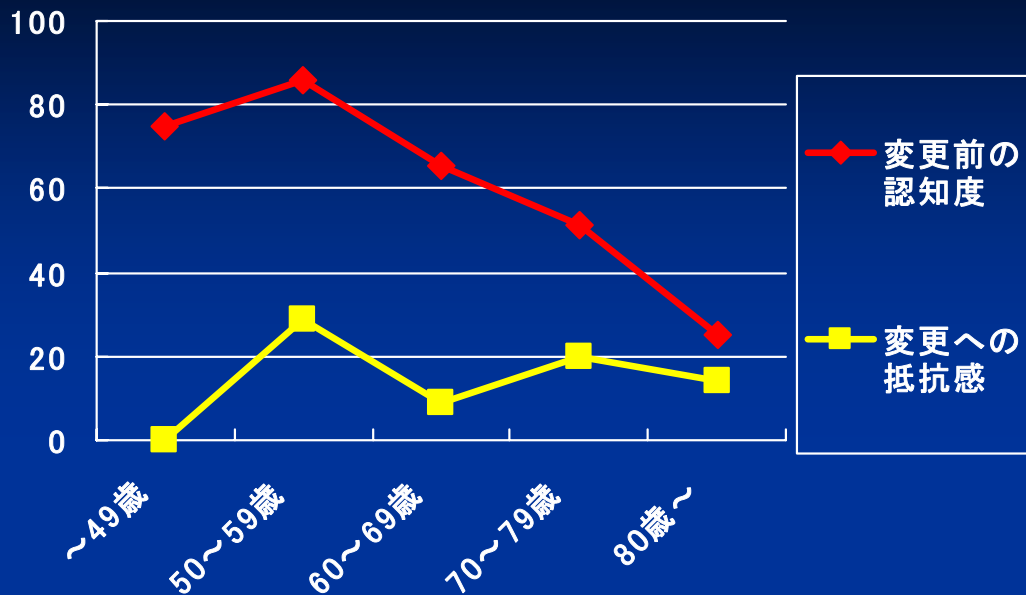


図6 《GEへの変更理由》

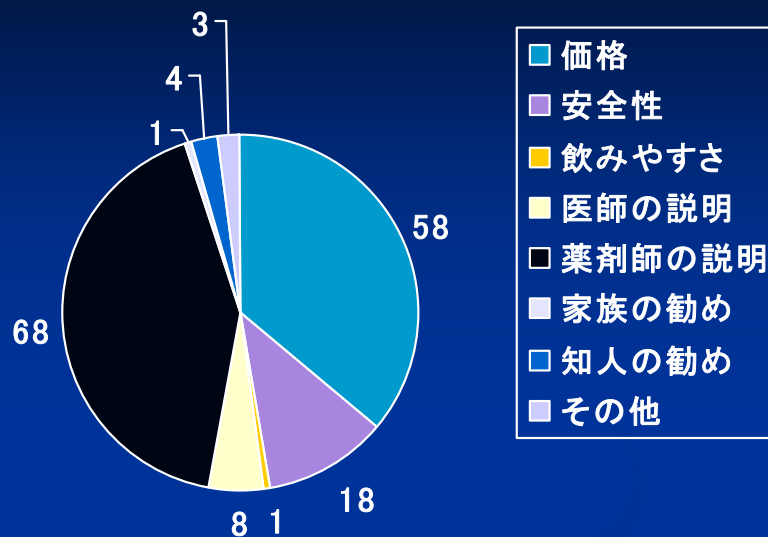


図7 《GE変更後の満足感》

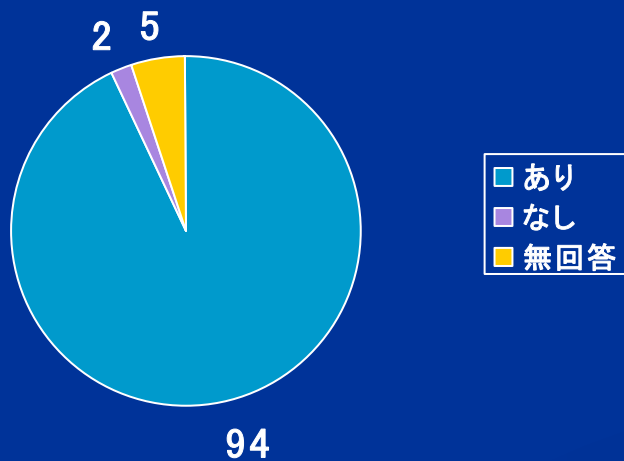
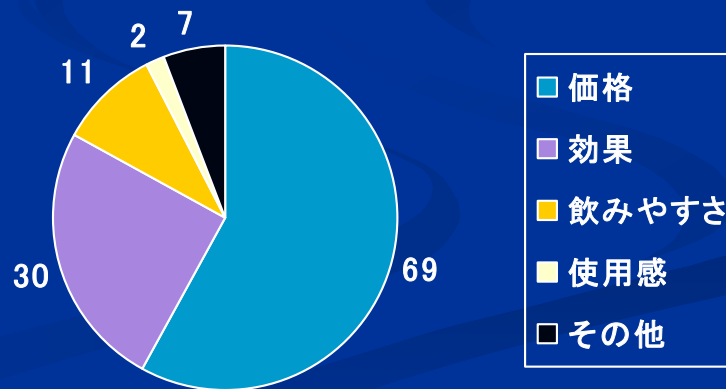
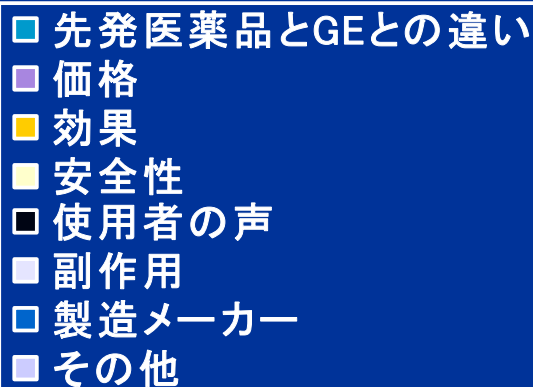
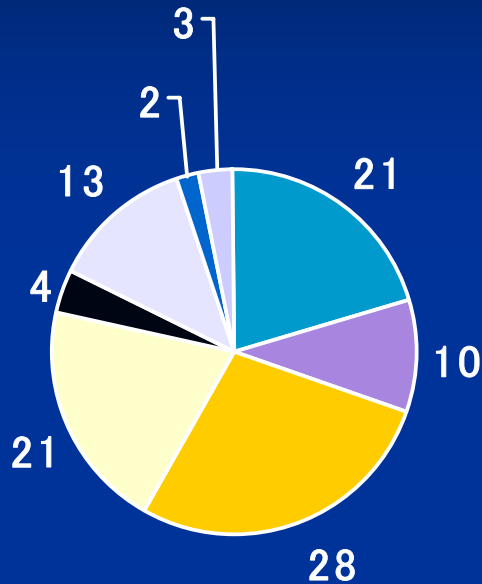


図8 《変更後満足しているところ》



【記述項目の結果】

図9
《GEについてもっと知りたいこと》



- 薬剤師を信頼しているので任せる。
- GE変更後も効果は変わらなかった。
- GEについて、薬剤師の見解を知りたい。
- 添加物のことを聞いて不安になった。
- 回収のニュースを聞いて不安になった。
- 医師に先発品と変わりないから変更してもいいと言われている
- 安全性に満足している。
- 今後のGEに変更するかは、薬による。
- GEを勧めることは、素人の自分では難しい。

【結果の分析】

- 図1より、「認知している」「認知していない」で変更する割合には影響しない結果が出た。
- 図2より、薬剤師の説明により変更する割合が高い。
- 図3より、変更後は満足しているが、変更前には、抵抗感をもったまま服用されていた事例もある。
- 図5より、認知度は高齢になるにしたがって、低下していた。
- 図9より、GEについて求めている情報は、「価格」「効果」「安全性」が多い。

【考察とまとめ I】

- GE変更後、求めている情報で多かった「効果」「安全性」は、変更時の薬剤師による説明不足が原因で不安感が残っていたと考えられる。これらを改善するには、丁寧で理解しやすい情報提供が必要であると考えられた。そこで、個々の患者様に合わせた説明ができる独自のツールの作成が今後の課題である。
- 薬剤師を信頼してGE変更を託すケースが多く、変更には薬剤師の言葉の影響力が大きいことが示唆された。使用促進には最前線に立つ我々薬剤師は薬のプロとして責任を果たさなくてはならない。

【考察とまとめⅡ】

- 認知度の割合はまだ低いと言える。当社では、店内に情報の掲示などをし、初回受付時のアンケートで、希望意思の確認を行ってきたが、今後は掲示内容の充実をはかり、ホームページ上でも情報提供を行っていく。
- 満足度は高かったが、服用中の患者様にも不安感、抵抗感があることから、安心して使用していただけるように、厚生労働省ホームページや医薬品メーカー、患者様から得た情報等を継続して収集し、随時新しい情報提供を含めたアフターケアを行っていく必要がある。